

特別企画：四国地方 主要 8 行の預金・貸出金等分析 (2017 年第 2 四半期(中間期)決算)

貸出金は約 5733 億円増加するも、利ざやは 7 億円減少

～8 行中、3 行は利ざやが増加～

はじめに

近年、将来的な人口動態や地方創生の観点から地域金融機関を中心とする銀行の収益確保、店舗展開の動向が注目されてきた。昨年の 11 月に金融庁が公表した金融行政方針では、地域金融機関に対して持続可能なビジネスモデルの構築を求めている。他の監督官庁からは、地銀による同一県内シェアが大きく高まる統合の動きに対するけん制があり、利用者へのメリット、他の手法の検討なども考慮すべき旨の意見なども聞かれ、金融機関の再編に向けた取り組みや将来に向けた課題は複雑化している。

帝国データバンク高松支店は、四国 4 県に本店を置く主要 8 行（百十四、香川、伊予、愛媛、四国、高知、阿波、徳島）の 2017 年第 2 四半期末（2017 年 9 月末）時点の預金、貸出金の残高および預金利息（累計）、貸出金利息（累計）を、2016 年第 2 四半期のものと比較し分析した。

調査結果

1. 2017 年第 2 四半期末（2017 年 9 月末）時点の四国主要 8 行の「預金」は、19 兆 8681 億 1800 万円で、前年同期と比べ 4397 億 6500 万円（2.3%）増加した。
2. 「貸出金」は、14 兆 8694 億 6500 万円で、前年同期に比べ 5733 億 3700 万円（4.0%）増加した。
3. 「利ざや」（貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額）は、913 億 300 万円となり、7 億 3900 万円（0.8%）減となった。
4. 地域別では、四国は、「預金」の増減比で 9 地域中上から 8 番目の増加幅、「貸出金」の増減比では上から 4 番目の増加幅であった。「利ざや」では、上から 5 番目であった。

1. 預金動向 ～4397 億 6500 万円増、8 行中 7 行が増加

2017 年第 2 四半期（中間期）末での、「四国」の主要 8 行の預金総額は、19 兆 8681 億 1800 万円で、前年同期に比べ 4397 億 6500 万円（2.3%）増加した。半年間で支払った預金金利支出は 48 億 400 万円で、前年同期より 9 億 8200 万円（17.0%）減少した。

「全国」の地銀・第二地銀と比較すると、預金では、「四国」（2.3%）は「全国」（3.1%）より増加率が 0.8 ポイント小さかった。預金利息支出では、「四国」（▲17.0%）は「全国」（▲13.5%）より 3.5 ポイント減少率が大きく、「四国」の銀行全体では、「全国」に比べ預金は増えておらず、預金利息は大きく減少していた。

個別の金融機関をみると、預金では、8 行中 7 行の預金額が前年同期に比べ増加していた。預金額が最も大きかったのは「伊予銀行」の 4 兆 9871 億 3800 万円だった。増加額が最も大きかったのは、「徳島銀行」（1065 億 7300 万円）で、預金額の増加率が最も高かったのも「徳島銀行」（7.9%）であった。

預金利息は、8 行中 6 行が減少しており、2 行が増加していた。

■ 四国地区 金融機関の預金

（単位：百万円）

銀行名	都道府県	預金(9月末残高)				預金利息支出(半年間)			
		2016年9月末	2017年9月末	増減額	増減率(%)	2016年中間期	2017年中間期	増減額	増減率(%)
阿波銀行	徳島県	2,586,635	2,635,402	48,767	1.9	284	348	64	22.5
徳島銀行	徳島県	1,353,576	1,460,149	106,573	7.9	343	339	▲ 4	▲ 1.2
伊予銀行	愛媛県	4,892,920	4,987,138	94,218	1.9	1,661	1,182	▲ 479	▲ 28.8
愛媛銀行	愛媛県	1,858,786	1,919,797	61,011	3.3	916	634	▲ 282	▲ 30.8
百十四銀行	香川県	3,965,933	3,919,832	▲ 46,101	▲ 1.2	957	1,034	77	8.0
香川銀行	香川県	1,363,741	1,423,450	59,709	4.4	496	401	▲ 95	▲ 19.2
四国銀行	高知県	2,506,455	2,610,770	104,315	4.2	623	463	▲ 160	▲ 25.7
高知銀行	高知県	900,307	911,580	11,273	1.3	506	403	▲ 103	▲ 20.4
四国		19,428,353	19,868,118	439,765	2.3	5,786	4,804	▲ 982	▲ 17.0
全国		312,933,436	322,655,759	9,722,323	3.1	73,393	63,485	▲ 9,908	▲ 13.5

2. 貸出金動向 ～5733 億 3700 万円増 8 行全てが増加

2017 年第 2 四半期末での、「四国」の主要 8 行の貸出金総額は 14 兆 8694 億 6500 万円で、前年同期より 5733 億 3700 万円（4.0%）増加した。半年間で得た貸出金利息収入は 961 億 700 万円で、前年同期より 17 億 2100 万円（1.8%）減少していた。

「全国」の地銀・第二地銀と比較すると、貸出金の増加率は、「四国」（4.0%）と「全国」（3.9%）で 0.1 ポイントの差であった。貸出金利息収入の減少率は、「四国」（▲1.8%）と「全国」（▲1.8%）は同じであった。

個別の金融機関をみると、貸出金は、8 行全てが増加していた。金額が最も大きかったのは「伊予銀行」の 4 兆 1324 億 3000 万円で、増加額が最も大きかったのも「伊予銀行」（1960 億 5300 万円）であった。増加率が最も高かったのは「徳島銀行」（8.5%）であった。

貸出金利息収入は、8 行中 7 行が減少したが、「愛媛銀行」だけは横ばいであった。

■ 四国地区 金融機関の貸出金

(単位: 百万円)

銀行名	都道府県	貸出金(9月末残高)				貸出金利息収入(半年間)			
		2016年9月末	2017年9月末	増減額	増減率(%)	2016年中間期	2017年中間期	増減額	増減率(%)
阿波銀行	徳島県	1,711,990	1,777,014	65,024	3.8	13,128	12,412	▲ 716	▲ 5.5
徳島銀行	徳島県	938,430	1,017,986	79,556	8.5	7,862	7,731	▲ 131	▲ 1.7
伊予銀行	愛媛県	3,936,377	4,132,430	196,053	5.0	24,281	24,156	▲ 125	▲ 0.5
愛媛銀行	愛媛県	1,528,976	1,634,494	105,518	6.9	12,349	12,352	3	0.0
百十四銀行	香川県	2,740,791	2,771,254	30,463	1.1	16,004	15,731	▲ 273	▲ 1.7
香川銀行	香川県	1,134,816	1,192,021	57,205	5.0	8,565	8,266	▲ 299	▲ 3.5
四国銀行	高知県	1,627,365	1,662,819	35,454	2.2	10,128	10,098	▲ 30	▲ 0.3
高知銀行	高知県	677,383	681,447	4,064	0.6	5,511	5,361	▲ 150	▲ 2.7
四国		14,296,128	14,869,465	573,337	4.0	97,828	96,107	▲ 1,721	▲ 1.8
全国		238,530,651	247,866,850	9,336,199	3.9	1,481,733	1,454,449	▲ 27,284	▲ 1.8

3. 利ざや動向 ～17 億 2100 万円減 8 行中 3 行が増加

2017 年第 2 四半期の半年間での、「四国」の主要 8 行の収支（貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝本業利ざや）は、913 億 300 万円となり、前年同期より 7 億 3900 万円（0.8%）減少した。

「全国」の地銀・第二地銀と比較すると、減少率は、「四国」（▲0.8%）が「全国」（▲1.2%）より 0.3 ポイント小さかった。

個別の金融機関をみると、8 行中 5 行は減少しており、増加したのは 3 行だった。金額が最も大きかったのは「伊予銀行」の 229 億 7400 万円で、増加額が最も大きかったのも「伊予銀行」（3 億 5400 万円）であった。増加率が最も高かったのは「愛媛銀行」（2.5%）であった。

2016 年第 2 四半期は 8 行全てが、2015 年第 2 四半期より利ざやを減らしたが、2017 年第 2 四半期は、8 行中 3 行が利ざやを増やしており、4 行は減少率が小さくなった。

■ 四国地区 金融機関の利ざや

(単位: 百万円)

銀行名	都道府県	利ざや収入(半年間)				
		2016年度 中間期	2017年度 中間期	増減額	増減率(%)	【参考】2016年度 中間期増減率(%)
阿波銀行	徳島県	12,844	12,064	▲ 780	▲ 6.1	▲ 3.7
徳島銀行	徳島県	7,519	7,392	▲ 127	▲ 1.7	▲ 3.7
伊予銀行	愛媛県	22,620	22,974	354	1.6	▲ 4.1
愛媛銀行	愛媛県	11,433	11,718	285	2.5	▲ 3.2
百十四銀行	香川県	15,047	14,697	▲ 350	▲ 2.3	▲ 3.2
香川銀行	香川県	8,069	7,865	▲ 204	▲ 2.5	▲ 4.5
四国銀行	高知県	9,505	9,635	130	1.4	▲ 2.7
高知銀行	高知県	5,005	4,958	▲ 47	▲ 0.9	▲ 3.4
四国		92,042	91,303	▲ 739	▲ 0.8	▲ 3.6
全国		1,408,340	1,390,964	▲ 17,376	▲ 1.2	▲ 3.0

4. 地域別 ～9 地域中、「利ざや」は上から 5 番目

全国の地域別で集計した地銀・第二地銀の「預金」の増減率を比較すると、「四国」は 9 地域中上から 8 番目となった。「預金」の増減率は、全地域でプラスとなっており、プラスが最も大きかったのは「北陸」の 4.9%、最も小さかったのは「東北」の 1.8%であった。

「貸出金」の増減率では、「四国」は 9 地域中上から 4 番目であった。「貸出金」も全地域でプラスとなっており、プラスが最も大きかったのは「中国」の 6.7%、最も小さかったのは「東北」の 1.9%であった。

「利ざや」の増減率では、「四国」は、上から 5 番目であった。「利ざや」は 3 地域でプラス、6 地域でマイナスとなっており、プラスが最も大きかったのは「中国」の 1.0%だった。また、マイナスが最も大きかったのは「北陸」の▲4.3%であった。

■ 地域別「預金」「貸出金」「利ざや」増減率

	預 金		貸出金		利ざや	
	増減率(%)	順位	増減率(%)	順位	増減率(%)	順位
北海道	3.6	3	3.9	5	▲ 1.9	6
東北	1.8	9	1.9	9	▲ 0.7	4
関東	3.4	4	3.4	6	▲ 2.8	7
北陸	4.9	1	2.7	8	▲ 4.3	9
中部	2.9	5	4.2	3	0.5	2
近畿	2.4	7	3.2	7	▲ 3.9	8
中国	2.9	5	6.7	1	1.0	1
四国	2.3	8	4.0	4	▲ 0.8	5
九州	3.7	2	4.9	2	0.3	3
全国	3.1	—	3.9	—	▲ 1.2	—

まとめ

今回の調査で、2017 年中間期の四国の主要 8 行の利ざやは、2016 年中間期に比べると減少していた。個別の金融機関をみると、2016 年中間期は、8 行全ての利ざやが減少していたのに対し、2017 年度の中間期は、8 行中、3 行は利ざやが増加していた。しかし、これは、各行の預金利息が大幅に減少したことが主な要因であり、貸出金利息は増えなかった。

金融機関は、手数料の引き上げや外債投資など貸出業務以外での収益増加を目指している。しかし一方で、フィンテックを用いた異業種からの参入や金利リスクがある。今後、四国の金融機関が安定した経営を続けていくためには、貸出業務でも充分な収益を確保し、持続可能な事業モデルを確立することが求められている。

参考 ■ 地域別地銀・第二地銀「預金」「貸出金」「利ざや」動向

		2016年9月末	2017年9月末	2016年9月末比 増減額・増減比(%)	
北海道 (2行)	預金	12,102,574	12,538,557	435,983	3.6
	預金利息	646	470	▲ 176	▲ 27.2
	貸出金	9,249,809	9,608,843	359,034	3.9
	貸出金利息	54,125	52,941	▲ 1,184	▲ 2.2
	貸出金利息－預金利息	53,479	52,471	▲ 1,008	▲ 1.9
東北 (15行)	預金	31,771,515	32,342,567	571,052	1.8
	預金利息	6,340	4,447	▲ 1,893	▲ 29.9
	貸出金	21,500,061	21,898,555	398,494	1.9
	貸出金利息	121,665	119,007	▲ 2,658	▲ 2.2
	貸出金利息－預金利息	115,325	114,560	▲ 765	▲ 0.7
関東 (16行)	預金	68,781,816	71,147,359	2,365,543	3.4
	預金利息	12,613	12,579	▲ 34	▲ 0.3
	貸出金	54,910,026	56,801,561	1,891,535	3.4
	貸出金利息	336,671	327,560	▲ 9,111	▲ 2.7
	貸出金利息－預金利息	324,058	314,981	▲ 9,077	▲ 2.8
北陸 (9行)	預金	20,903,472	21,932,826	1,029,354	4.9
	預金利息	3,145	2,492	▲ 653	▲ 20.8
	貸出金	15,369,988	15,778,653	408,665	2.7
	貸出金利息	87,224	82,921	▲ 4,303	▲ 4.9
	貸出金利息－預金利息	84,079	80,429	▲ 3,650	▲ 4.3
中部 (16行)	預金	54,892,710	56,509,765	1,617,055	2.9
	預金利息	15,994	12,887	▲ 3,107	▲ 19.4
	貸出金	41,177,268	42,908,789	1,731,521	4.2
	貸出金利息	270,691	268,967	▲ 1,724	▲ 0.6
	貸出金利息－預金利息	254,697	256,080	1,383	0.5
近畿 (9行)	預金	31,562,247	32,320,751	758,504	2.4
	預金利息	9,235	7,255	▲ 1,980	▲ 21.4
	貸出金	24,344,604	25,122,979	778,375	3.2
	貸出金利息	146,544	139,273	▲ 7,271	▲ 5.0
	貸出金利息－預金利息	137,309	132,018	▲ 5,291	▲ 3.9
中国 (9行)	預金	27,703,620	28,513,634	810,014	2.9
	預金利息	9,574	9,807	233	2.4
	貸出金	20,767,244	22,149,876	1,382,632	6.7
	貸出金利息	122,215	123,549	1,334	1.1
	貸出金利息－預金利息	112,641	113,742	1,101	1.0
四国 (8行)	預金	19,428,353	19,868,118	439,765	2.3
	預金利息	5,786	4,804	▲ 982	▲ 17.0
	貸出金	14,296,128	14,869,465	573,337	4.0
	貸出金利息	97,828	96,107	▲ 1,721	▲ 1.8
	貸出金利息－預金利息	92,042	91,303	▲ 739	▲ 0.8
九州 (21行)	預金	45,787,129	47,482,182	1,695,053	3.7
	預金利息	10,060	8,744	▲ 1,316	▲ 13.1
	貸出金	36,915,523	38,728,129	1,812,606	4.9
	貸出金利息	244,770	244,124	▲ 646	▲ 0.3
	貸出金利息－預金利息	234,710	235,380	670	0.3
105行 合計	預金	312,933,436	322,655,759	9,722,323	3.1
	預金利息	73,393	63,485	▲ 9,908	▲ 13.5
	貸出金	238,530,651	247,866,850	9,336,199	3.9
	貸出金利息	1,481,733	1,454,449	▲ 27,284	▲ 1.8
	貸出金利息－預金利息	1,408,340	1,390,964	▲ 17,376	▲ 1.2

単位:百万円

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株)帝国データバンク 高松支店 伊藤将平 青木真人

TEL 087-851-1571 FAX 087-851-3837